

細田工務店、長谷エコーレーションと木造在来軸組工法用  
「高遮音床構造」を共同開発。性能試験においてLH-45<sup>※1</sup>を確認。  
～ 4月より細田工務店の木造在来軸組工法による集合住宅で採用 ～

株式会社細田工務店（本社：東京都杉並区阿佐谷南3-35-21 代表取締役社長：野村孝一郎）は、株式会社長谷エコーレーション（本社：東京都港区芝2-32-1 代表取締役社長：池上一夫）との共同で、木造在来軸組工法による集合住宅の「高遮音床構造(特許出願中)」を開発し、(一財)建材試験センターでの性能試験にて重量床衝撃音性能「LH-45」<sup>※1</sup>、軽量床衝撃音性能「LL-40」<sup>※1</sup>と高い遮音性能を確認しました。

木造在来軸組工法の遮音性能向上を図るために開発した「高遮音床構造」は、床から伝わる衝撃音に対して遮音フロア、木質系セメント板、ロックウール吸音板、重量床衝撃音減衰ダンパーの基本構成により高い遮音性能を実現します。その性能は「プレミア45」では、重量床衝撃音性能で「LH-45」<sup>※1</sup>、軽量床衝撃音性能「LL-40」<sup>※1</sup>という高い数値を確認いたしました。また、同時に開発された「スタンダード50」でも重量床衝撃音性能で「LH-50」<sup>※1</sup>、軽量床衝撃音性能「LL-40」<sup>※1</sup>を確認しています。

※1 試験場における性能値です。実際の性能値はプラン等の諸条件により変動します。

細田工務店では、4月より木造在来軸組工法の集合住宅で標準仕様として「スタンダード50」を設定、オプション仕様に「プレミア45」を用意し受注を開始してまいります。

### 【重量床衝撃音性能で「LH-45」<sup>※1</sup>を発揮する「プレミア45」の特徴】

- ① 「木質系セメント板」と「ロックウール吸音板」を組み合わせた床構成として、「ロックウール吸音板」による浮き床効果が上階からの重量床衝撃音及び軽量床衝撃音を低減します。
- ② 床の音を抑制する「重量床衝撃音減衰ダンパー」を採用しました。構造的な床組の直下に設置することで、特定の周波数（63Hz帯域近傍）の振動を減衰する効果<sup>※2</sup>が得られます。

※2 重量床衝撃音とは、子どもの飛び跳ねや、歩行などによる“ドン”という重くて鈍い音のことを指し、特に63Hz帯域近傍の音が建物に伝わりやすい特徴があります。この帯域の音を低減させることが、遮音対策では重要になります。

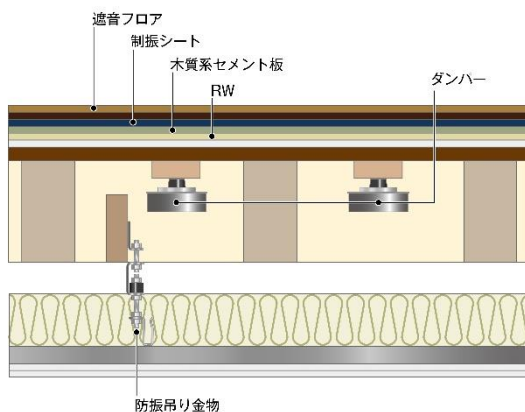


図1/プレミア45の断面イラスト



図2/プレミア45の構造床部分

住まいと暮らしの創造企業グループ



暮らしをやさしくつむ家



本社 / 〒166-8577 東京都杉並区阿佐谷南 3-35-21

【リリースに関するお問い合わせ先】  
株式会社細田工務店 広報課(担当:北村、芦川)  
電話:03-5397-7725  
e-mail:koukoku@hosoda.co.jp